

USD / JPY (7/9) 38.2%水準で下落STOPか、日銀めぐり下値トライか



コメント

先週の値動き＝ドル堅調の展開も、木曜日のトリシェECB総裁の発言以降、ドルが売られる展開に。

今週の指標＝金曜日、日銀政策金利決定会合が最大の注目。水曜日に米貿易収支など米指標にも注意。

テクニカル＝先週は114.35 > 114.01円と行って来いの展開。ただ、**上ひげが長く**伸びており、上値の重さを示している。

安値は113.81円と**38.2%戻し**水準で止まっているものの、円高が進めば**112.80円**近辺まで下落する可能性も。

ただ、ボリンジャーの上下幅は横ばいで、一方的な方向感には乏しいか。

テクニカル・レート

+2σ =	= 120.49円	先週始値 =	114.35円
24週移動平均線	= 115.57円	先週高値 =	115.76円
38.2%戻し	= 113.74円	先週安値 =	113.81円
38.2%戻し	= 112.80円	先週終値 =	114.01円
-2σ =	= 110.66円		

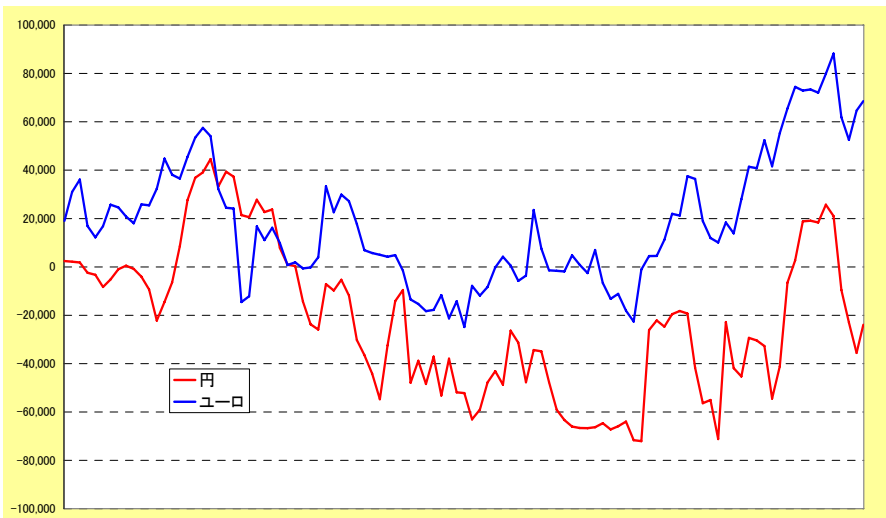
【PR】

買う技術 売る技術

投資で勝つコツは、予想でなく「技術」です。どこで仕掛け、どこで決済するか。

<http://gaitame.sportswalker.net/product/>

4週ぶりに円の売り持ち縮小、日銀政策決定会合はついに利上げか

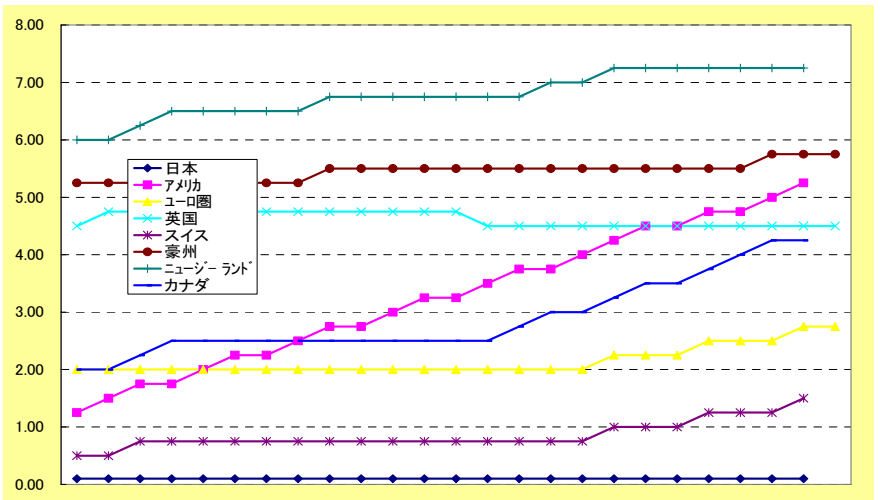


IMM投機筋ポジション動向

7月3日までの状況では、シカゴIMM投資筋の円の売り持ちは約▲2.4万枚。先週より約1.2万枚縮小した。3日の終値は114.67円。直近7月7日の終値は114.01円。さらに縮小か。

一方、ユーロの買い越しは先週より約0.3万枚拡大し、約6.8万枚。3日が1.2800ドル。7日が1.2809ドル。

3週続いた円の売り持ち拡大から、縮小に。木、金曜日にドル円が急落したこともあり、さらに縮小しているか。一方、ユーロの買い持ちは引き続き高水準で推移している。



各国金利動向

先週はユーロ、英国、豪州で政策金利が発表。いずれも予想とおり据え置きとなった。結果は、トリシェECB総裁の発言にサプライズ。インフレに強い懸念を示し、8月3日に理事会を開き、+0.5bp利上げを含めた記者会見も。

今週は、金曜日に日銀・金融政策決定会合が開かれる。ゼロ金利政策解除が予想されている。左図でも分かるように、ついに日本も、右肩上がりのチャートとなるのか。その場合、絶対的金利差では以前大きいですが、日本の上昇余地は大きく、そうした思惑から、円高予想も多い。